



臨時休業で静まりかえった教室(昭和中)

## 感染症対策で臨時休業や行事中止

新型コロナウイルスの全国的な感染拡大により、安倍首相が2月27日に小中学校などの臨時休業を要請したことを受け、村内4か所の小中学校も3月2日か



相談案内を掲示した役場玄関(詳細は10ページに)

ら春休みまで臨時休業となりました。このため、子どもを預かる各小学校併設の学童クラブは、開所時間前倒しでの対応となっております。

また、村は2月28日、新型コロナウイルス感染症対策本部を設置。会議やイベントなどの開催は、感染拡大防止のため関係者と相談のうえ開催可否を検討していくことを確認しました。これに伴い、家族経営協定調印式や村民芸能祭など、開催中止となる行事も相次いでいます。

## 役場新庁舎の設計事業者が決定

役場新庁舎の基本設計に関するプロポーザルが2月10日に役場会議室で行われ、新庁舎建設委員会による投票の結果、(株)福島建築設計事務所が担当することに決定しました。同設計事務所は、利用者の視点に立った高い住みサービスの提供と、働く職員の職場環境の向上、災害時には防災拠点となる質実剛健な庁舎として機能するよう設計するとしています。

なお、昭和村新庁舎建設基本設計の原案がまとまりましたので、3月16日から



質問する野田敏夫委員

4月15日までの間、パブリックコメントを受け付けます。詳しくは村ホームページをご覧ください。



設計事業者によるプレゼンテーション

石井さん、保坂さん、

中村さんに感謝状

群馬県交通大会が2月5日に伊勢崎市境総合文化センターで開催され、村交通指導員・隊長の石井雅典さん(滝久保)と、回副隊長の保坂貴仁さん(鎌沢)、同班長の中村佳央さん(赤城原第二)に、山本一太県知事から優良交通指導員表彰の部の感謝状が贈られました。石井さんらは多年にわたる交通安全活動に尽力され、交通事故防止に寄与されました。



(左から)中村さん、石井さん、保坂さん



発表する(左から)坂本君、鈴木さん、徳江君、高橋さん

## 生涯学習大会に大場久美子さん

第25回生涯学習大会が2月22日、公民館多目的ホールで開催されました。

第1部では、村内各校を代表し大河原小学校6年の坂本翼さん、高橋寧々日さ



講演する大場久美子さん

ん、同5年の徳江郁水さん、鈴木花音さんが、いじめ防止活動を発表しました。

第2部の人権講演会では、女優として活躍する大場久美子さんが登場。大場さんは、パニック症を克服した経験から心理カウンセラーとなった経緯や症状について説明し、「人間の心である、脳の誤作動がパニック症。抱え込んだり、ひとりぼっちにならないで」と呼び掛けました。

また、大場さんは健康法も丁寧に紹介し、会場からは大きな拍手が上がっていました。

## 災害ボランティア

### 養成講座開講

昭和村社会福祉協議会  
新木敬司会長は2月16日、  
村公民館で「災害ボランティア養成講座」やりましょう災害に強いむらづくり」を開催しました。

この講座は災害に係るボランティア活動に必要な知識や技術の習得を図り、災害に強いむらづくりを進めることを目的とするもの。

当日は村民や役場職員、社会福祉協議会職員など計40人が参加し、災害ボランティアセンターに関する講義とグループワークを行いました。

## 議会・村づくり協力委が意見交換

村議会議員および村づくり協力委員(星野和美会長)との意見交換会が2月20日、役場会議室で行われました。

当日は22人が出席し、2班に分かれて意見交換を開始。「村でも労働者不足の問題が出ており、村で農家への雇用派遣を行えないか」「今後は6次産業化による加工品等の輸出が効果的では」といった農業に関する話題や、「村を外部的に向け発信するために村のオリジナルグッズやキャラクターがあってもよいのでは」「村を売り込むため、村づくり協力委員会の

活動を活性化させては」など、村の魅力を高めるための意見などが活発に交わされました。



あいさつする林委員長(左)と村づくり協力委の星野会長



2班に分かれ活発に行われた意見交換



実践的なノウハウが示された講座